



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜インターナショナルスクール新キャンパス計画	階数	地上4F
建設地	神奈川県横浜市中区小港町2-100-1	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	学校集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 竣工	評価の実施日	2020/4/14
敷地面積	14,692 m ²	作成者	興石 秀人
建築面積	6,308 m ²	確認日	2020/4/24
延床面積	14,828 m ²	確認者	月出 俊典



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★★ B: ★★★★★★ C: ★★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 耐用年数高い材料を使用し、ライフサイクルコストを低減している。また植栽を地上に積極的にしている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 遮音性能がT-2以上。 屋光利用設備が1種類ある。 F☆☆☆☆を使用している。	Q2 サービス性能 天井高は2.5m以上、階高は3.9m以上。 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。 耐用年数が高い内装仕上げ材と空調・給排水配管材を使	Q3 室外環境(敷地内) 緑づくりに取り組んでいる。芝生・草地・低木等の緑地や通路等の空地を設けることにより、風の通り道を確保する。
LR1 エネルギー 外皮性能が高い。	LR2 資源・マテリアル 衛生設備に節水機能が付いている。 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。 ODP=0とGWP=1がある吹付け硬質ウレタンフォームA種1を使用しております。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して91%。 交通負荷抑制に取り組んでいる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



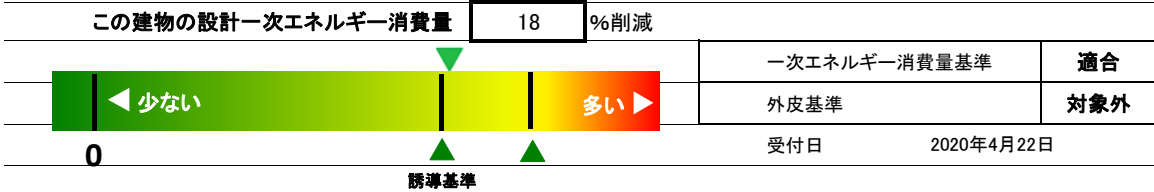
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **横浜インターナショナルスクール新キャンパス計画**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

E-①外皮性能が高い

E-③[BPI][BPI_m] ≤ 0.80

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

W-⑩昼光利用設備がある。

W-⑪F☆☆☆☆を使用。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

W-⑫照明くと内装計画の調和を重視し用途別に色温度を設定。

W-⑫フロア毎に掃除用流しを設置。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

R-⑮建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。

R-⑮耐用年数が高い内装仕上げ材を使用。

R-⑮耐用年数が高い空調・給排水配管材を使用。

R-⑰節水型器具を採用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 4**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

T-⑱既存樹木を保存し活用。

T-⑳建物の維持管理に対して職員が参加。

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2017年版v.1.4
横浜インターナショナルスクール新キャンパス計画

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
				Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ソーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1 耐震性										
2 免震・制振性能										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔										
6 主要設備機器の更新必要間隔										
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備										
2 給排水・衛生設備										
3 電気設備										
4 機械・配管支持方法										
5 通信・情報設備										
3 対応性・更新性										
3.1 空間のゆとり										
1 階高のゆとり										
2 空間の形状・自由さ										
3.2 荷重のゆとり										
3.3 設備の更新性										
1 空調配管の更新性										
2 給排水管の更新性										
3 電気配線の更新性										
4 通信配線の更新性										
5 設備機器の更新性										
6 バックアップスペースの確保										



CASBEE横浜2017年版v.1.4
横浜インターナショナルスクール新キャンパス計画

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮		4.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑩敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		2.4	0.10	-	-	2.4
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.9	0.50	-	-	2.9
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護				3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.7	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				4.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				4.2	0.60	-	-	4.2
2.1 材料使用量の削減				4.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				5.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.3	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.62	-	-	-
2 砂塵の抑制				5.0	0.16	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.22	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目					-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-